

2025年3月 (No.429)

主な内容とページ

急速に構造変化するわが国半導体貿易	1
24 年の半導体輸出、最高額を更新	2
トランプ関税の影響は限定的	2
急伸から反動で減少の半導体輸入	6
輸入では非実装品が初の 1 兆円台乗せ	6
台湾からの輸入、TSMC が 3 割近く	7
わが国半導体生産と貿易	9
抜本改革の好機(SRL だより)	10

急速に構造変化するわが国半導体貿易

わが国半導体貿易が急速に変化をみせている。

1. わが国半導体輸出は 2024 年に過去最高の 5 兆円台乗せを達成。これは国内で生産され海外で組み立てられる半完成品が伸びを支えている。
2. 半導体輸入は 2 年前の品不足時に急伸を遂げたが、その後は調整。台湾 TSMC の日本工場稼働で、輸入から国内への代替生産が今年から本格化しそう。
3. 一連の動きは、半導体産業の水平分業化が影響。新たな展開で最終的に日本の競争力の強化につながることが期待される。

抜本改革の好機

わが国は 15 年ぶりの保革逆転、米国は第 2 期トランプ政権下で自国第一主義の徹底、中国の台頭等変化が著しい。変化も一時的なもの、あるいは構造的なもの、違いがあるが、わが国の衰退、世界での埋没は、根深い構造的な動きで、今のような世界が大きく変化している時期だからこそ抜本的な改革に取り組む好機だ。

エレクトロニクスの分野でみれば、かつて世界一を誇った家電や半導体は、大きく後退、海外大手とは量的価格的に同じような競争は太刀打ち出来なくなった。情報技術(IT)では、米や中国の巨大企業との差は開く一方で、競争から置き去りにされそう。

どうする。妙案はなく、自ら競争できる分野で、力を維持、強化その上で世界を視野に策を練る。徹底的に高収益かつ成長力を磨き、独自の領域で存在感を高めることだろう。いかなる大国、大企業でも世界を全て牛耳ることはないという信念、それぞれ地域、国家、企業、人々多様な価値観があり、可能性は無限という挑戦心が必要だ。

(大竹 修)

本誌の内容一覧、索引は、SRL ホームページをご利用ください。

この資料の複写、複製その他電子的な方法等によるいかなる形での複写利用をお断りします。但しオンライン法人契約を除きます。
この資料は公開されている文書および、社会的に信用ある企業、団体等の責任者によって公開された情報を SRL の解釈と分析で表現したものです。

2025 年 版權所有 株式会社 SRL

SRL Monthly Report

2025 年 3 月(毎月 1 回発行)第 36 巻 3 号(通巻 429 号)

発行元: 株式会社 SRL

〒187-0011 東京都小平市鈴木町 2-865-67

TEL 042(318)7729

編集・発行人/大竹 修

SRL Monthly Report

March 2025, No.429

Semicon Research Ltd.

2-865-67 Suzuki-Cho, Kodaira -City, Tokyo 187-0011 Japan

Publisher/Editor Osamu Ohtake

© (株)SRL 2025

個人利用購読料金 1 年分 12 号 107,800 円(税込み)